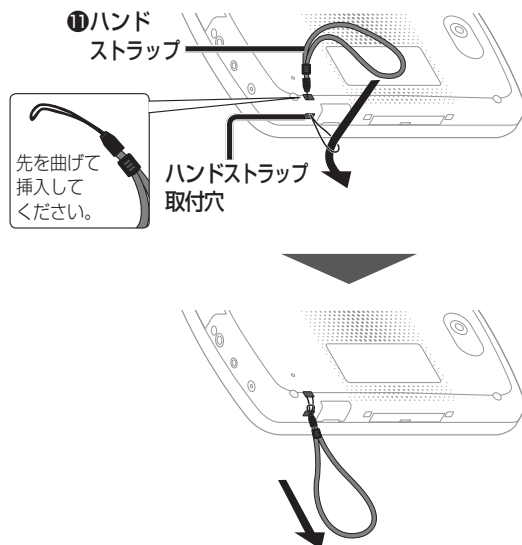


ハンドストラップを取り付ける

ハンドストラップを
本機に通す



お願い

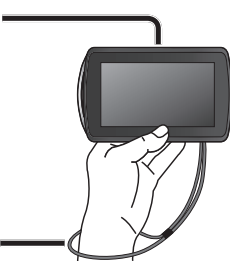
- ストラップを持って本機を振り回すなど、本機やストラップに過度の力を加えないでください。本機の故障の原因となったり、ストラップが切れるなどして周囲の人やものに損傷を与えるおそれがあります。
- ストラップは、ときどき傷んでいないかご確認ください。ストラップが切れて本機が落下するおそれがあります。

本機の持ちかた

横向きを持つ場合

縦向きを持つ場合

- GPSアンテナ(内蔵)に指がかからないように、なるべく垂直に持ってください。



- ストラップを手首にかけてご使用ください。(落下防止のため)

車に取り付ける・接続する

車載用吸盤スタンドの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準※¹に適合させるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って取り付けてください。

また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

※¹ 道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、細目告示 第27条 および 別添29

前方視界基準

■対象車種

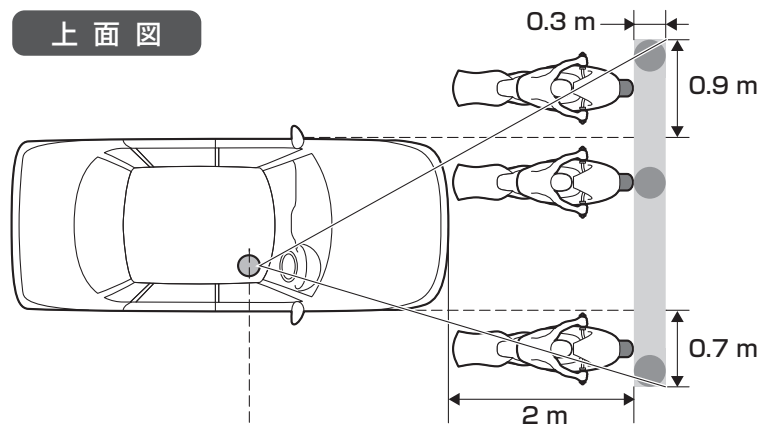
専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11人以上のものを除く)
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■基準概要

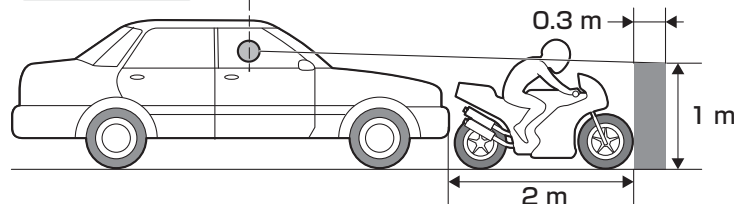
自動車前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



はじめに

ハンドストラップを取り付ける／車に取り付ける・接続する

車載用吸盤スタンドを取り付ける

取り付ける前に

- 設置する位置を確認するときは、車載用吸盤スタンドの吸盤保護カバーを外さないでください。吸盤保護カバーを外して直接ダッシュボードに取り付けると、吸盤の跡が残る場合があります。
- 付属のスタンド用ストラップを車載用吸盤スタンドに取り付けて、設置する位置を確認してください。
- 付属のクリーナーで、設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けられないでください。落下する原因となります。

取付シートが密着しないような強い曲面	×	
約30°以上傾いた場所（推奨15°以下）	×	
不安定な場所	×	
垂直な面（スタンドの破損に至る場合もあります）	×	

1 取付シートを貼り付ける

- 貼りなおさないでください。粘着力が弱くなります。



ダッシュボード(設置面)
気温が低いときは、ドライヤーなどで温めてください。

しっかり定着させるため、貼り付け後、約24時間以上経過してから、スタンドを取り付けてください。

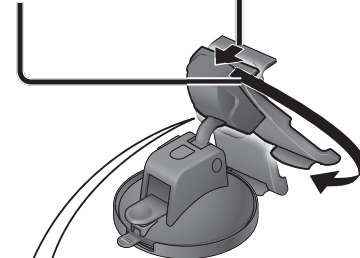
お願い

車載用吸盤スタンドは、必ず取付シートの上に取り付けてください。

- 吸着面全体がしっかりと密着していないと、使用中に外れるおそれがあります。
- 吸盤の吸着力でダッシュボードが変形する場合があります。
- ダッシュボードに吸盤の跡が残る場合があります。

2 クレードルの向きを変える

- 1 クレードルを起こす
- 2 180°回転させる

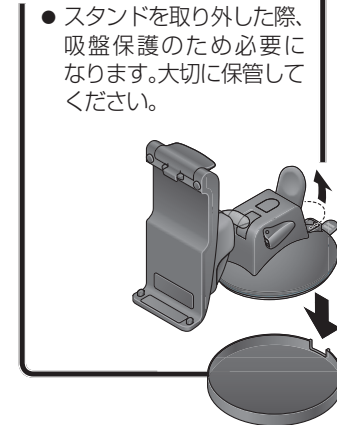


ボールジョイント
自由な角度に回せます。
(ロックはありません)

ボールジョイントが固いときは、少しずつ力をかけて回してください。

3 吸盤保護カバーを外す

- 1 レバーを上げる
- 2 吸盤保護カバーを外す

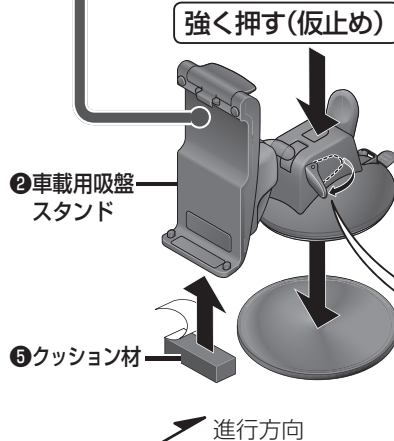


4 クッション材を貼り付ける

- 振動でノイズが発生する原因となりますので、左図のとおりクッション材を貼り付けてください。

5 車載用吸盤スタンドを取付シートに仮止める

- クレードルがダッシュボードにあたってスタンドが密着しない場合は、ロックを解除してください。

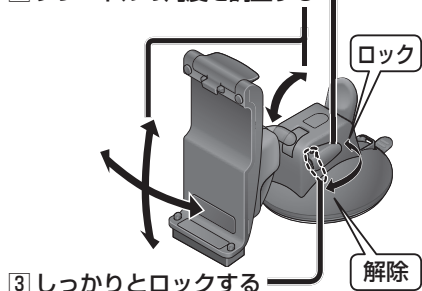


次ページへ続く

車載用吸盤スタンドを取り付ける（続き）

6 クレードルの角度を調整する

- ① ロックを解除する
- ② クレードルの角度を調整する

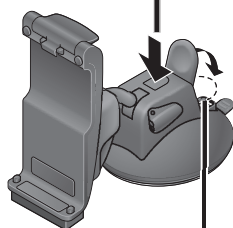


お願い

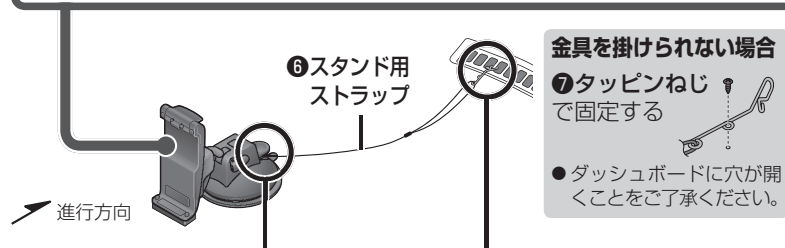
- 必ず、クレードルの底面(クッション材)をダッシュボードに強く押し当てるように設置し、安定させてください。

7 車載用吸盤スタンドをしっかりと固定する

- ① 上部を強く押す



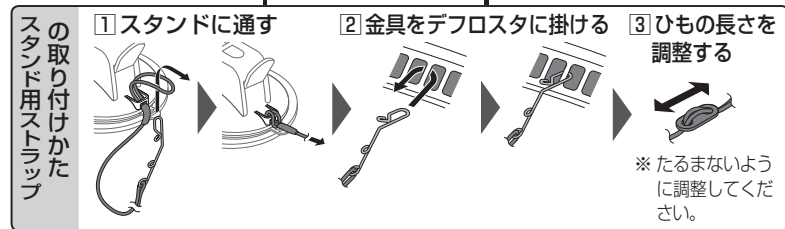
- ② レバーを下げてロックする



金具を掛けられない場合

- 7 タッピンねじで固定する

- ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。



お願い

- 定期的に(およそ1週間に一度)スタンドの取り付けが緩んでいないか確認し、レバーを再度ロックしてください。
- 吸盤の吸着面が汚れたときは、スタンドのお手入れをしてください。(P.184)

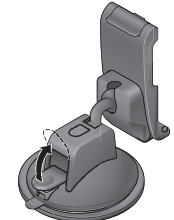
車載用吸盤スタンドを取り外すには

- 他の車にのせかえるときや、本機を長期間使用しないときなどは、車載用吸盤スタンドを取り外してください。

準備

- ナビゲーション本体および各コードを、取り外してください。

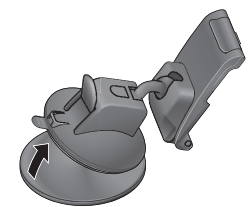
1 レバーを上げる



2 後面のタブを持って取り外す

お知らせ

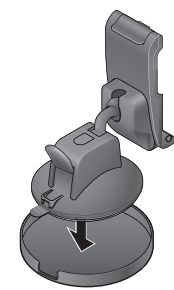
- 気温が低いときは、吸盤をはがしにくい場合があります。



3 吸盤保護カバーをかぶせる

お願い

- 吸盤に汚れや傷が付かないように、必ず吸盤保護カバーをかぶせて保管してください。



車に取り付ける・接続する

ナビゲーション本体を車載用吸盤スタンドに取り付ける

- 電源が「切」の状態で行ってください。

1 くぼみを車載用吸盤スタンドの突起に合わせる



2 矢印の方向に押しこむ

- カチッと音がするまで、しっかりと押し込んでください。



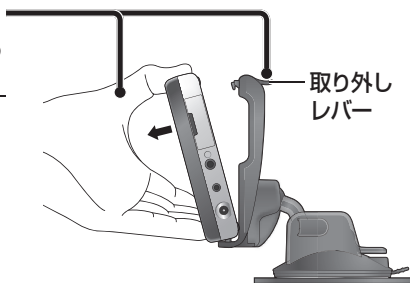
お願い

- 液晶ディスプレイを押さないでください。

ナビゲーション本体を取り外すには

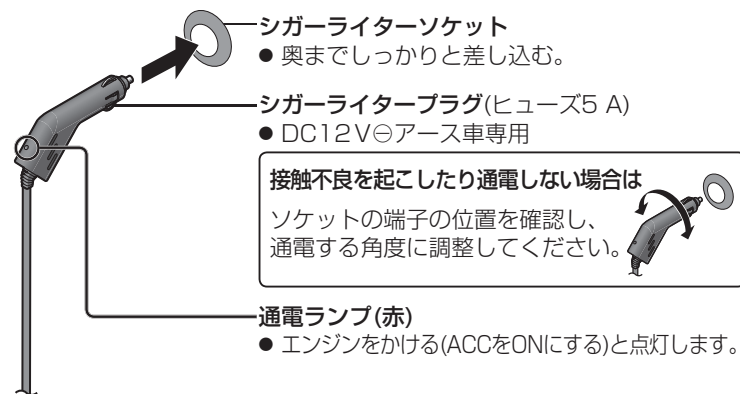
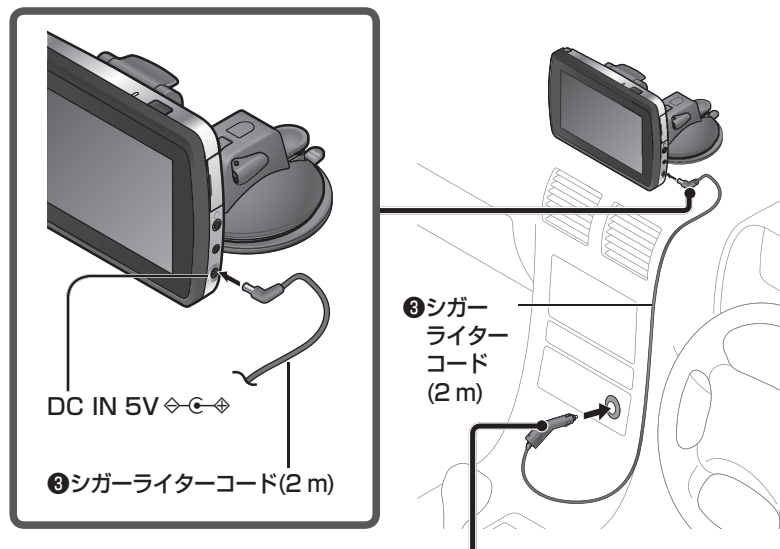
1 ナビゲーション本体を持ち、取り外しレバーを押しながら

2 矢印の方向に取り外す



車載用吸盤スタンドから取り外すときは、必ずナビゲーション本体を持って行ってください。
本体を持たずに取り外しレバーを押すと、本体が落下するおそれがあります。

シガーライターコードを接続する



お願い

- 使用しないときは、ソケットからプラグを抜いてください。
ナビゲーション本体が接続されていない状態でも、プラグを接続したままにしておくと、約8 mAの電流を消費します。
- ヒューズの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源について

車内で使う場合

電源を入れる

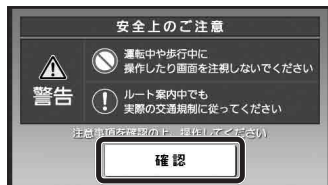
- ナビゲーション本体を車載用吸盤スタンドに取り付け、シガーライターコードを接続してください。(P.30、31)

1 車のエンジンをかける (またはACCをONにする)

- 本機の電源が入り、シガーライターコードの通電ランプが点灯します。
- 起動パスワード認証画面が表示されたら→P.45
 - ・走行中は起動パスワードを入力できません。
 - ・安全な場所に停車してください。

2 警告画面の内容を確認して、確認をタッチする

- 現在地画面(P.64)が表示されます。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。



■AVの画面が表示された場合

現在地 をタッチすると、現在地画面が表示されます。(P.153)

お知らせ

- 初めて起動したときは、JR東京駅周辺の地図が表示されます。見晴らしの良い場所でしばらく使用し、GPS衛星からの信号を受信すると、現在地付近の地図が表示されます。(P.40)

電源を切る

車のエンジンを切る (またはACCをOFFにする)

- 電源が切れます。
- 車両によっては、本機の電源が切れない場合があります。(その場合、シガーライターコードの通電ランプも消灯されません) 車を離れるときは、必ずシガーライタープラグを抜いてください。バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなる場合があります。

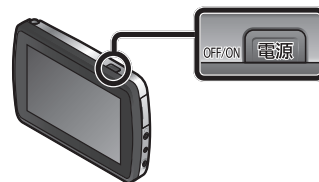
内蔵電池で使う場合

電源を入れる

- お買い上げ時は内蔵電池が充電されていませんので、充電してからお使いください。(P.36)

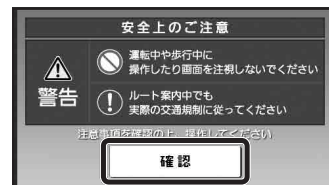
1 電源スイッチを、電源が入るまで(約2秒間)押す

- 電源が入ります。
- 起動パスワード認証画面が表示されたら→P.45



2 警告画面の内容を確認して、確認をタッチする

- 現在地画面(P.64)が表示されます。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 電子コンパス調整画面が表示されたら→P.49



お知らせ

- 内蔵電池保護のため、内部の温度が極端に高温または低温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。常温に戻ってから、再度電源を入れなおしてください。

電源を切る

電源スイッチを、電源が切れるまで(約2秒間)押す

- 電源が切れます。電源/充電ランプ(緑)が消灯したことを確認してください。

お知らせ

- 電源/充電ランプ(緑)が点灯したままのときは、省電力モードになっている場合があります。(P.39) このまま放置すると、内蔵電池の電力を消費します。長時間使用しないときは、電源を切ってください。

ACアダプターで使う場合

簡易視聴スタンドを取り付ける

- ACアダプター使用時は、必ず簡易視聴スタンドをご使用ください。

側面図

くぼみを、
スタンドの突起
に合わせる。

⑩ 簡易視聴
スタンド

安定した平坦な場所で使用する。

お願い

- 不安定な場所では使用しないでください。
- 高温になる場所や水のかかる場所では使用しないでください。
故障や変形の原因となります。

ACアダプターを接続する

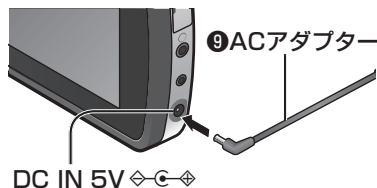
- 電源が「切」の状態で行ってください。

1 コンセント(AC 100 V) に接続する



⑨ ACアダプター

2 本機に接続する



⑨ ACアダプター

■ 取り外すときは

本機→コンセントの順に取り外してください。

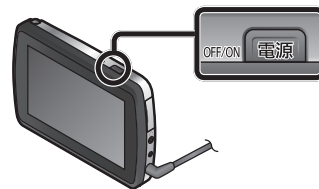
お知らせ

- ACアダプターの取り付け/取り外しを行っても、電源は自動的に入/切されません。

電源を入れる

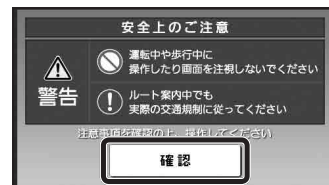
1 電源スイッチを、 電源が入るまで(約2秒間)押す

- 電源が入ります。
- 起動パスワード認証画面が表示されたら→P.45



2 警告画面の内容を確認して、 確認をタッチする

- 現在地画面(P.64)が表示されます。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 電子コンパス調整画面が表示されたら→P.49



お願い

- 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは、2 m以上離すか、コンセントを別にしてください。
- 使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
・ ACアダプター接続時は、電源が切れている状態でも約0.1 W～4 W (充電時)の電力を消費します。(消費量は、本機の充電状態によって異なります。)
・ 本機と接続されていない状態でも、ACアダプターをコンセントに接続したままにしておくと、最大0.8 Wの電力を消費します。

電源を切る

電源スイッチを、電源が切れるまで(約2秒間)押す

- 電源が切れます。

内蔵電池を充電する

シガーライターコードを接続して、車のエンジンをかける(ACCに入れる)
または、ACアダプターを接続する

- 充電を開始します。
- 充電中は、電源/充電ランプ(PWR/CHG)が点灯(橙)します。
本機の電源が「切」のときは、満充電になるとランプは消灯します。
- 本機の電源が「入」のときは、画面上の電池残量表示でも充電状態をお知らせします。

充電時間・連続使用可能時間の目安

充 電 時 間: 残量なし(全放電)から充電した場合

連続使用可能時間: 満充電で連続して使用した場合

充電	約3時間 (電源「切」の状態、全放電から満充電まで)
ナビゲーション	約2時間40分 (明るさ: センター / 案内音量: 中 のとき)
ナビゲーション (省電力モード 利用時)	約6時間 (明るさ: センター / 案内音量: 中 / 省電力モード: 10秒 / 自動電源OFF: しない / 10分に1回、10秒間操作したとき)
ワンセグ	約2時間50分 (明るさ: センター / 音量: 10 のとき)
電池保持期間	常温約20日間 (電源「切」の状態、満充電から全放電まで)

- 充電時間・連続使用可能時間は、使用条件によって異なります。
- 電池の充電時間と使用可能時間は目安です。
数値を保証するものではありません。
- 内蔵電池で使用するときは、電力の消費を抑えるため、下記をおすすめします。
 - ・省電力モードを利用する(P.38)
 - ・内蔵電池使用時の画面の明るさを暗くする(P.42、154)
 - ・音量を小さくする(P.41、152)
- 本機は、電源が「切」の状態でも、最大30 mWの電力を消費しています。

電池残量表示・電源/充電ランプについて

本機の状態に応じて、表示が下記のように切り換わります。

	充電状態	電池残量表示	電源/充電ランプ
シガーライターコード またはACアダプターで 使用時	充 電 中		点 灯 (橙)
	満 充 電	(橙)	点 灯 (緑)
	充電停止	—————	点 滅 (橙/緑)
内蔵電池で使用時	残量: 多	(緑)	点 灯 (緑)
	残量: 中	(緑)	
	残量: 少	(赤)	
	残量なし	(灰)	

電池の劣化を抑えるためのお願いとお知らせ

- 充電は10℃～35℃の温度範囲で行ってください。
周囲の温度がこの範囲以外では、満充電されるまでの時間が長くなる場合
や充電できない場合があります。
充電できない場合は、電源/充電ランプが点滅します。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や
電源が入らない場合があります。

お知らせ

- 長時間で使用にならなかったときは、電源が入らない場合があります。充電
してご使用ください。
定期的に(20日に一度)充電してください。
- 充電式電池は、累積の使用時間により少しずつ消耗/劣化します。そのため、
使用時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。

省電力モードを利用する

省電力の設定をして自動的に省電力モードに切り換える

省電力(P.180)の設定をすると、内蔵電池で使用時に自動的に省電力モードに切り換わり、内蔵電池の電力消費を抑えます。(ナビゲーション画面表示中のみ)

- AV画面表示中は、省電力モードの設定に関わらず、自動では省電力モードに切り換わりません。手動で省電力モードに切り換えてください。(P.39)

通常(電源ON)

省電力モードは
起動していません



点灯
(緑)

電源/充電ランプ

一定の時間※1
操作しないと…

※1 省電力モードになるまでの
時間は、10秒/30秒/60
秒から選べます。(P.180)

省電力モード(画面「暗」)

省電力モード(P.180)が
10秒/30秒/60秒に設定されている場合は…

画面の明るさが
暗くなります



点灯
(緑)

更に約30秒
操作しないと…

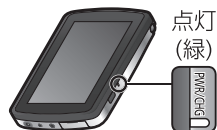
もとの明るさに戻すには
画面にタッチする



省電力モード(画面OFF)

画面が
OFFになります

- 音声は、引き続き出力されます。
- 電源スイッチ以外の操作は、無効になります。



点灯
(緑)

更に約5分
操作しないと…

画面OFFを解除するには

- 1 電源スイッチを押す
- 2 はいをタッチする



電源OFF

省電力モード時の自動電源OFF(P.180)が
「する」に設定されている場合は…

本機の電源が
OFFになります

- ワンセグ録画中を除く。



消灯

手動で省電力モードに切り換える

手動で省電力モードに切り換えて、内蔵電池の電力消費を抑えられます。

- 省電力モード(P.180)が「しない」に設定されている場合も切り換えられます。
- AV画面表示中にも切り換えられます。

通常(電源ON)

省電力モードは
起動していません



点灯
(緑)

電源/充電ランプ

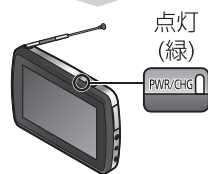
電源スイッチ
を押すと…



省電力モード(画面OFF)

画面が
OFFになります

- 音声は、引き続き出力されます。
- 電源スイッチ以外の操作は、無効になります。



点灯
(緑)

画面OFFを解除するには

- 1 電源スイッチを押す
- 2 はいをタッチする



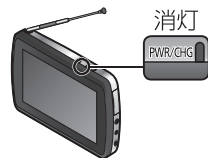
更に約5分
操作しないと…

電源OFF

省電力モード時の自動電源OFF(P.180)が
「する」に設定されている場合は…

本機の電源が
OFFになります

- ワンセグ録画中を除く。



消灯

お知らせ

- 省電力モード時の自動電源OFF(P.180)を「しない」に設定すると、省電力モード(画面OFF)の状態で約5分経過しても電源がOFFになりません。画面OFFにして、携帯型音楽プレーヤーとして使用するときなどに便利です。
- 画面OFFの状態でも電力を消費するため、電池の残量にご注意ください。